

キャリアラダーレベル別研修

法的 専門 な実 践能 力	専門 的倫 理力	看護 実践 能力	マネ ジダ メン トシ ック 能力	専門 性 の 開 発 能 力	ラダー	研修名	目的	目標	内容・その他	ナースィングスキル
					○	○	○	○	○	I
○	○	○	○	○	I～II	コーディネーター フォローアップ研修 (フィジカルアセスメント)	コーディネーターとしてチーム運営・指導的役割を担い実践に生かすことができる。	①臨床推論をもとに患者の病態を的確にアセスメントできる。 ②病態から重症度・緊急度を考え、優先順位を考えることができる。 ③コーディネーターとしての自己の課題を明確にできる。		・リーダーとしての心構えと役割・スキル(動画)
○	○	○	○	○	I	プリセプター研修 ①3か月フォローアップ研修 ②6か月フォローアップ研修 ③次年度プリセプター対象研修	①②プリセプターとしてのかかわりを振り返り、今後の指導に活かすことができる。 ③プリセプターの役割を理解し、新人看護職員を迎える準備ができる。	①② ・指導体験を振り返ることができる。 ・プリセプター間で悩みを共有すると共に、今後の課題が明確になる。 ③ ・新人看護師の特徴について理解できる ・プリセプターの役割が理解できる		①先輩看護師として身につけたい社会人基礎力
○	○	○	○	○	次年度 プリセプター	社会人基礎力育成研修	これからの看護が目指すものを考え、新人や看護職員の社会人基礎力を育成し、発揮できるようにするために、指導者の役割と行動を学ぶ			川崎市看護協会研修
		○			全職員	看護技術・実践別研修	安全かつ根拠のある看護技術を提供することができる		①褥瘡ケア ②摂食嚥下 ③がん看護 ④レスピレーター管理	①新人～II：最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法(動画) ②I～II：摂食嚥下ケアのための基礎知識と実際(動画) ③新人～II：がん看護技術(手順) 新人～II：疼痛管理の基本 ④I～II：人工呼吸器からの離脱(動画)
			○		全職員	看護補助者研修	効果的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的に、看護補助者業務範囲を理解し協働することができる	・看護補助者との協働の必要性 ・看護補助者の制度的な位置付け ・看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方 ・看護補助者へ業務指示を行う看護師の指示責任について理解できる。 ・看護補助者との協働のためのコミュニケーション		・看護補助者との更なる協働のために(動画)

				新人～II	急変対応	急変の予測、早期発見・対処につなげることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 急変の予測とアセスメントの基本を学ぶことができる。 バイタルサインの変化から急変を予測することができる。 急変対応時の報告・連絡・記録のポイントがわかる。 		急変対応（動画）
	○	○		I～III	急変対応	迅速なフィジカルアセスメントにより、急変予測と対応ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 人間が生きるための機能、急変までの生理的変化を理解することができる。 脳・呼吸・循環の機能が障害された症状のアセスメント項目を習得することができる。 急変時の変化に沿った対応について理解することができる。 急変の予兆を、意識、呼吸、循環の様子で見ると手掛かりが理解できる。 		迅速なフィジカルアセスメントで行う急変予測と対応（動画）
	○	○			急変時の看護 13:00～16:00	急変時の対応を学び、実践で活かすことができる。		神奈川県看護協会川崎支部研修	
	○	○		II～III	急変の前兆を見逃さないリーダーナースのためのフィジカルアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ①患者の状態や特性を踏まえたフィジカルアセスメントについて学ぶ ②優先度の高いニーズを判断し、個別的な看護を実践するための視点について学ぶ ③患者の状態を言語化して的確に伝える 	フィジカルアセスメントと合わせて画像・検査データについて学ぶことで、患者の病態を正しく捉えることができる	神奈川県看護協会研修	
	○			全職員	BLS研修	医療従事者としての救命への意識向上を目指し基本的な蘇生技術を身につける	医療従事者としてBLSを習得し実践できる	院内BLS研修	
	○	○		全職員	災害：災害対策委員会主催				災害時の医療と看護（動画）
	○	○		I～II	災害時看護Ⅰ：半日	<ul style="list-style-type: none"> 急性期のトリアージの実際 災害医療における基本事項を理解し、看護職としての役割を学ぶ 		川崎市看護協会研修	
	○	○		III～IV	災害時看護Ⅱ：半日	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市の災害リスクを共有し必要な対策を考える 災害医療における基本事項を理解し、看護職としての役割を学ぶ 		川崎市看護協会研修	
○			○	I 挑戦	事例検討	自己の看護を振り返り、看護について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自己の看護を振り返ることができる 事例を文章にまとめることができる。 発表会で発表することができる。 	①ガイダンス ②発表会	
○		○	○	II～III	ナラティブ	自己や他者の看護の経験を共有し、気づきを得て看護観を深める	<ul style="list-style-type: none"> 自己の行った看護を振り返り倫理的側面をふまえ大切にしていきたい看護を明確にできる。 ナラティブな語りから自己の看護を振り返ることができる。 		
○		○	○		看護研究	日々の看護実践の中での課題・疑問を研究的視点でまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書を適切に作成することができる。 文献を活用し、研究的視点で論文を作成することができる。 発表会で発表することができる。 外部で発表することができる。 	①ガイダンス ②発表会	楽しくやろう看護研究（動画）
○		○	○		看護研究の実践 (2日間)	日々の看護実践の中での課題・疑問を看護研究につなげる方法を学ぶ (看護研究の方法、文献検索の方法、研究計画書の作成)		川崎市看護協会研修	

	○			I～III	慢性心不全患者の看護 ～心不全パンデミックに備える！心 リハ・ACPまで～	・心不全の病態を理解し、進展ステージに合わせた看護の実際を学ぶ ・心不全の再発予防の重要性とセルフケアについて理解し、支援のポイントを学ぶ	神奈川県看護協会研修
--	---	--	--	-------	---	--	------------

	○			I～II	事例から学ぼう 褥瘡予防とケアの実際 ～予防編～	褥瘡を発生させないための予防対策を学ぶ	神奈川県看護協会研修：オンライン
	○			I～II	事例から学ぼう 褥瘡予防とケアの実際 ～治療編～	褥瘡の評価および看護の実際を学ぶ	神奈川県看護協会研修
	○			I～II	「食べる」を支える ～摂食嚥下障害患者のエキスパート から学ぶ誤嚥性肺炎の予防と 口腔ケア～	・摂食嚥下のプロセスおよび摂食嚥下障害を引き起こす原因・症状を理解する ・誤嚥性肺炎のリスクを減らす口腔ケアと食事介助を理解する	神奈川県看護協会研修
	○			I～II	トラブルを防ぐストーマケア ～漏れない！取れない！ 困らない！～	・ストーマに関する基礎知識と適切なケアを実践するための根拠を理解する ・ストーマ周囲皮膚のスキンケアとトラブル発生時の対処を学ぶ ・ストーマケア獲得に向けた患者・家族への援助と退院指導および社会福祉制度の知識と活用について学ぶ	神奈川県看護協会研修
	○	○		I～III	看護実践が見える 看護記録を目指して ～形式監査・質監査～	・看護記録の基本を理解する ・医療・看護の動向に応じた記録のポイントを理解する ・部署の指導に活かすための監査内容および方法を理解する	神奈川県看護協会研修
○		○		6階	看護実習指導者講習会	看護教育についての理解を深め、実習指導に必要な知識・技術を習得し効果的な実習指導ができる人材を育成する。	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター
		○		II～III	チーム運営に必要なリーダーシップ	チームリーダーとして必要なスキルを学び、自己の課題と今後の取り組みを明確にする	神奈川県看護協会研修
		○		III～IV	主任看護師が取り組む問題解決	・看護管理を実践するために必要な問題解決プロセスを理解する ・部署における現状や問題を自己の立場から捉え、今後の管理実践への示唆を得る	神奈川県看護協会研修
		○		III～IV	主任看護師に必要な マネジメントの基礎 (2日間)	主任としての看護管理を実践するために必要なマネジメントについて理解する	神奈川県看護協会研修
	○			I～IV	BLSプライバイダーコース	心肺停止状態の人を救命するために必要な成人・小児・乳児の一次救命処置、気道異物除去、AEDの使用にかかる知識と技術を習得する	神奈川県看護協会研修
○	○		○		ELNEC-Jコアカリキュラム (2日間)	エンド・オブ・ライフケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力習得のための系統的な教育プログラム（日本緩和医療学会認定）	①川崎市看護協会 or ②川崎市立病院

フィジカルアセスメント研修

的 実 能 力	専 門 的 倫 理 的 法	看 護 実 践 能 力	ネ ジ メ ン ト シ ン グ と マ	リ ー ダ ー の 開 発 能 力	ラダー	研修名	目的	目標	内容・その他	ナーシングスキル
						○			新人～Ⅰ	フィジカルアセスメントを学ぼう
○	○	○	○	Ⅰ挑戦	看護過程 (フィジカルアセスメント)	患者のニーズをとらえ、状況に応じた 標準的な看護を自立して実践 できる。	①NANDAの13領域が理解できる。 ②患者の全体像を捉える必要性が理解できる。 ③NANDAの13領域のアセスメントから看護問題が抽出できる。 ④個別性を踏まえた根拠のある看護計画を立案できる。	事例を用いた看護展開		
○	○	○	○	Ⅰ	フィジカルアセスメントの基礎	患者の病態生理を正しく理解することで個別性を捉えた看護を展開できる。	①事前学習をもとに事例患者に何が起きているのかをワークシートに整理できる。 ②整理した情報をもとに、病態関連図を描くことができる。	事例を用いた看護展開 (GW)		
○	○	○	○	Ⅰ～Ⅱ	フィジカルアセスメント	「コーディネーターフォローアップ研修」参照				

入退院支援研修

専門的な実践能力	倫理的・法的	看護実践能力	ネジメーション能力とマ	専門性の開発能力	ラダー	研修名	目的	目標	内容・その他	ナーシングスキル
					○	○	Ⅰ～Ⅳ	訪問看護ステーション	在宅ケアを経験することにより、退院後の患者・その家族の生活がイメージでき、先を見据えた退院支援に必要な知識・技術・態度を学ぶことができる。また、同法人間において、相互の専門性を理解し、入院から在宅への看護の連携や協力の在り方について学ぶことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の役割と活動内容を理解することができる。 ・在宅療養を支えるサービスや他機関・多職種との連携について理解することができる。 ・在宅療養がイメージでき、患者・家族が、安心して在宅で暮らすために必要な退院支援・指導を考えることができる。 ・病院と訪問看護ステーションの効果的な連携を考えることができる。
○		新人～Ⅰ	入退院支援Ⅰ：基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援の必要性と入退院支援マニュアルが理解でき、情報収集・整理することができる ・地域包括ケアシステムにおける自病院の役割を理解できる ・対象の反応から満足感を得ることが多い入退院支援にかかわる院内外の多職種の役割を理解し、指導・助言を受けながら、マニュアルに沿った行動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについて理解することができる ・入退院支援の必要性について理解することができる ・介護保険について知ることができる ・入退院支援マニュアルを理解し、活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援の必要性について ・介護保険について ・入退院支援マニュアルの使用方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援（動画） 			
○	○	Ⅱ	入退院支援Ⅱ：実践	入退院支援の問題点に応じて、個別性を踏まえた看護計画の立案から展開方法を（事例から）学ぶ	事例を通して、入退院支援における看護展開ができる	<ul style="list-style-type: none"> 事例展開 ・個人 ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援（動画） ・病院看護師が行う入退院支援（動画） 			
○	○	Ⅲ	入退院支援Ⅲ：マネジメント	退院支援場面において患者・家族の指導ができ、必要時にほかの部門との調整方法を学ぶ・地域連携においてリーダーシップを発揮することができる <ul style="list-style-type: none"> ・多職種の連携において、病院内だけではなく病院外との複雑な調整ができる ・地域連携における自病院の役割から自部署の課題を抽出できる 	事例を通して、多職種連携における看護師の役割がわかり、患者・家族・それを支援するリソースについて総合的な見方をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> 事例展開 ・個人 ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援（動画） ・病院看護師が行う入退院支援（動画） 			
○		Ⅰ～Ⅱ	地域包括ケアにつなげる入退院支援～生活者としての人を見る～	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムにおける入退院支援の必要性や基礎知識・制度を理解する ・それぞれの立場にある看護師が求められる役割を発揮できるように、入退院支援の実際を支援する 		神奈川県看護協会研修：オンライン				

倫理研修

的 実 践 能 力	専 門 的 倫 理 的 法	看 護 実 践 能 力	ネ ジ メ ン ト シ ッ プ と マ	リ ー ダ ー の 開 発 能 力	専 門 性 の 開 発 能 力	ラダー	研修名	目的	目標	内容・その他	ナーシングスキル
						○	○				
○	○					Ⅰ～Ⅱ	倫理	・日常的な患者・家族との関わりの中で生じている倫理的問題に気づき、解決につなげることができる ・助言を得ながら倫理的問題解決に向けた看護実践ができる	・事例を通し、日常的な看護の場にも倫理的問題があることを気づくことができる ・看護師の倫理綱領をもとに、看護師の役割を振り返ることができる		・日常の看護ケアで考える倫理（動画） ・身体拘束について考える（スタッフ編）（動画）
○	○					Ⅱ～Ⅲ	倫理	臨床における倫理的課題に気づき、その課題に取り組むための行動がとれる	・臨床絵倫理・看護倫理の概念を理解できる ・看護倫理における看護師の役割を理解できる ・倫理的課題に対して、倫理原則・4分割法を用いて話し合うことができる		・第3回日常の看護ケアで考える倫理（動画） 意思決定を支える看護職の役割
○	○					Ⅱ～Ⅲ	高齢者支援と認知症患者の看護（2日間）	・認知症の最新の知識やケアについて学ぶ ・高齢者の自立支援に向けて高齢者の特性を理解する ・高齢者の倫理的課題と意思決定支援について学ぶ			神奈川県看護協会研修
○	○					Ⅱ～Ⅲ	高齢者の人生最終段階における意思決定支援～患者・家族のACP～（2日間）	・高齢者の身体的、精神的、社会的特徴と現状・課題を理解する ・人生の最終段階を迎えた高齢の本人と家族におけるACPについて理解する ・多職種で支援する連携の在り方を学ぶ			神奈川県看護協会研修
○	○					Ⅲ～Ⅳ	身体拘束をしない看護へのチャレンジ～尊厳と安全のはざままで～	・身体拘束がもたらす弊害について理解できる ・身体拘束をしない看護援助を知る			神奈川県看護協会研修
○	○	○				Ⅱ～Ⅳ ②のみ全職員	認知症看護の専門的知識・技術研修（施設基準要件）	①認知症高齢者の基本的なとらえ方と認知症に必要な倫理的課題と意思決定支援 ②認知症の原因疾患と病態・治療を行動・心理症状（BPSD）せん妄の予防と対策 ③患者・家族の意思決定支援を支援するエンド・オブ・ライフケア ④アセスメントと援助方法、コミュニケーション方法			川崎市看護協会研修 ②のみ単独でハイブリッド受講可